

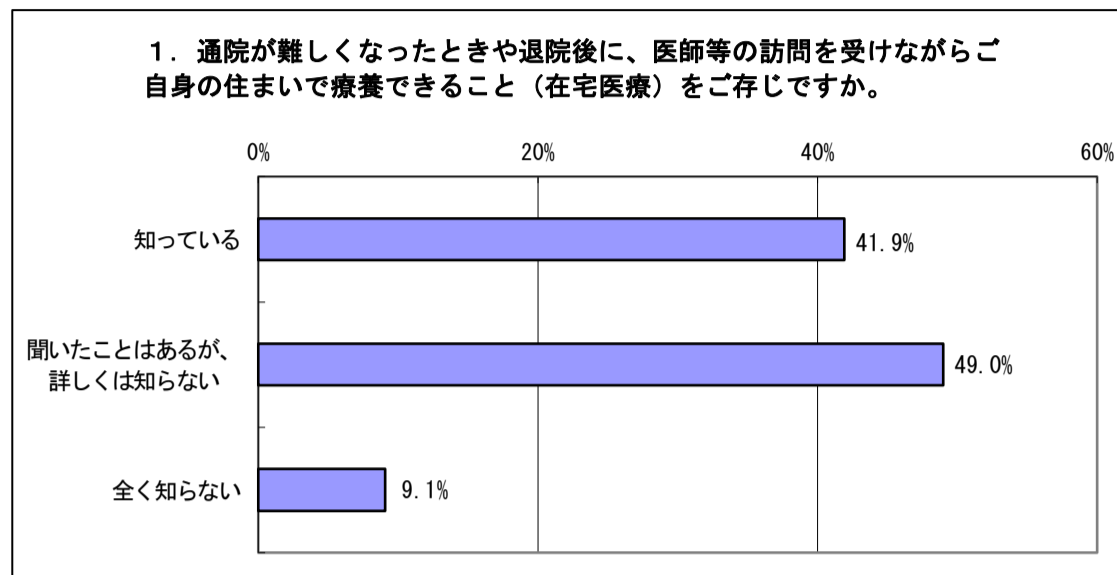
令和2年度「県民Webアンケート」 第8回 在宅医療の認知度等に関する調査

○実施期間 2020/10/29～2020/11/4

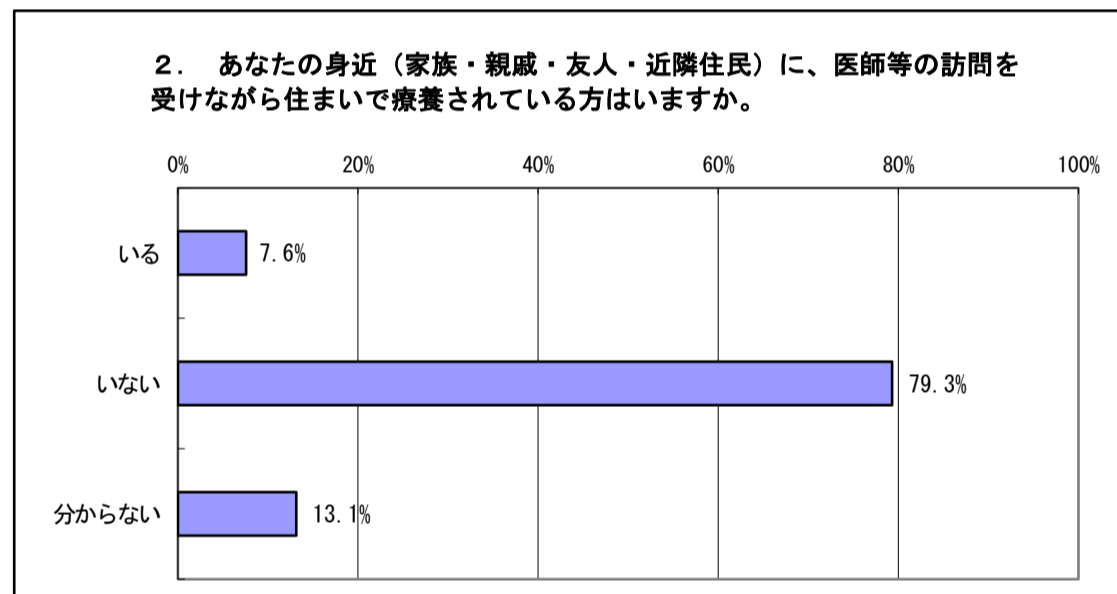
○アンケート会員数 237人 回収数 198件 (回収率 83.5%)

○奈良県では、県民の皆様が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療提供体制の充実に取り組んでいます。そこで、どのくらいの方が在宅医療についてご存知なのか、また、通院できなくなったときに在宅での療養が可能と考えておられるか等を知るためアンケートを実施し、今後の在宅医療施策に活用したいと考えています。

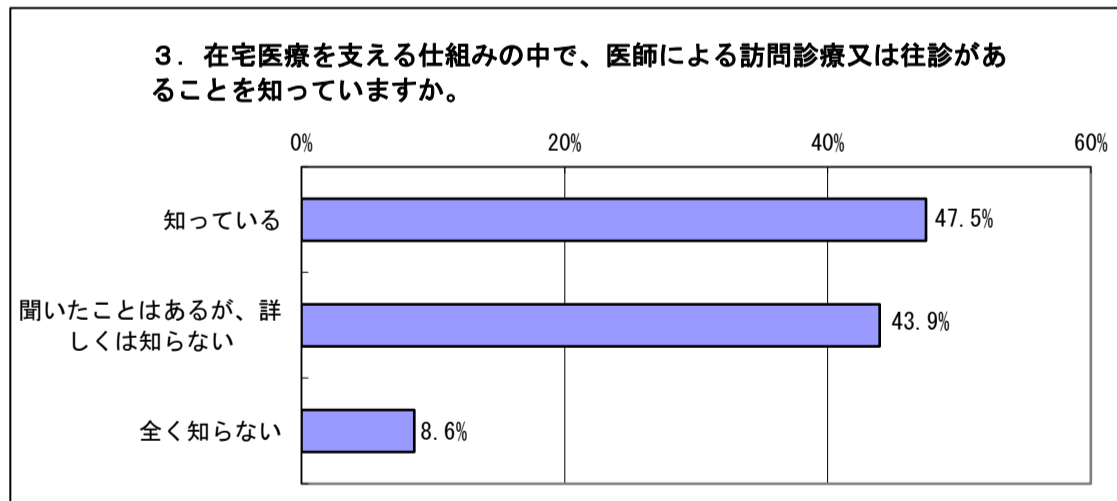
1. 通院が難しくなったときや退院後に、医師等の訪問を受けながらご自身の住まいで療養できること（在宅医療）をご存じですか。	回答数	回答対象者	比率
知っている	83	198	41.9%
聞いたことはあるが、詳しくは知らない	97		49.0%
全く知らない	18		9.1%
総計	198		100%



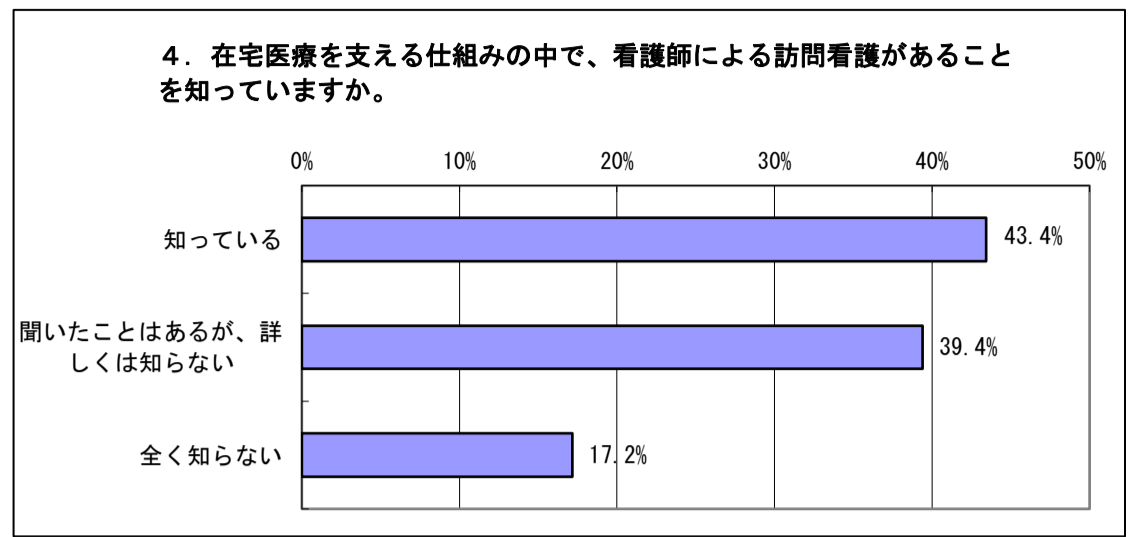
2. あなたの身近（家族・親戚・友人・近隣住民）に、医師等の訪問を受けながら住まいで療養されている方はいますか。	回答数	回答対象者	比率
いる	15	198	7.6%
いない	157		79.3%
分からない	26		13.1%
総計	198		100%



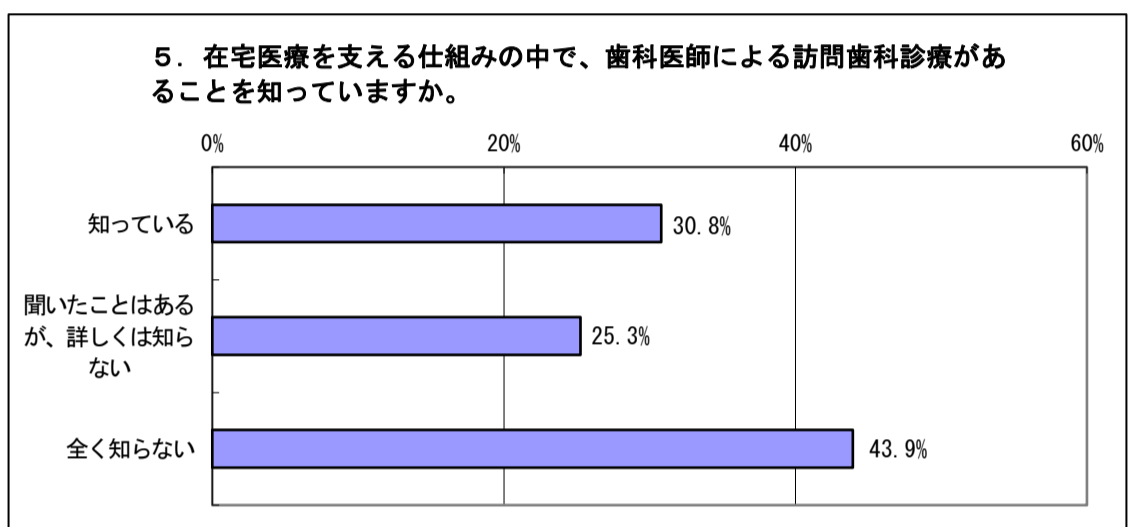
3. 在宅医療を支える仕組みの中で、医師による訪問診療又は住診があることを知っていますか。	回答数	回答対象者	比率
知っている	94	198	47.5%
聞いたことはあるが、詳しくは知らない	87		43.9%
全く知らない	17		8.6%
総計	198		100%



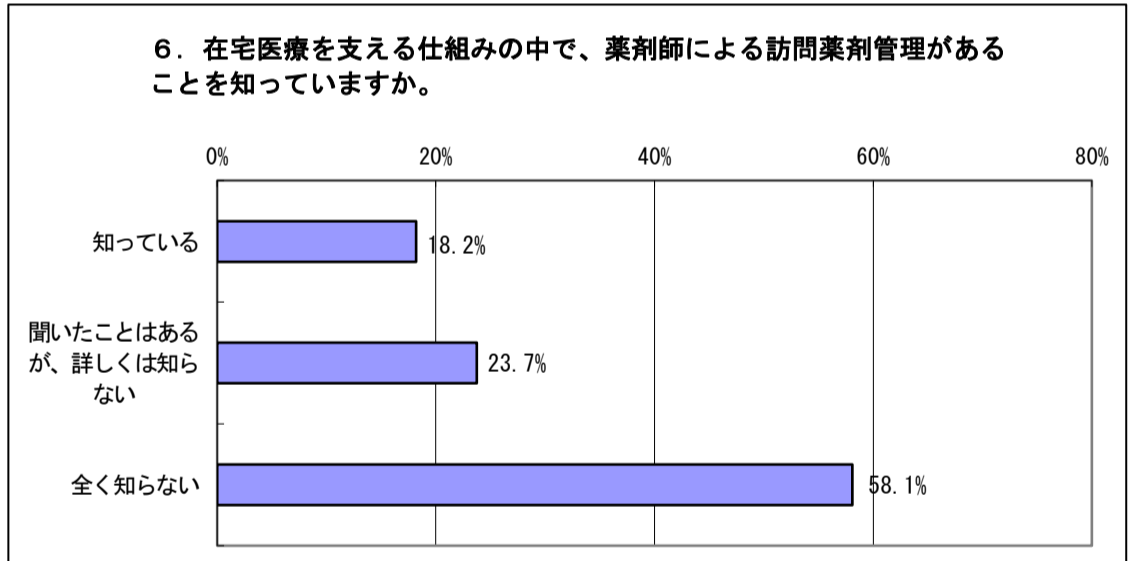
4. 在宅医療を支える仕組みの中で、看護師による訪問看護があることを知っていますか。	回答数	回答対象者	比率
知っている	86	198	43.4%
聞いたことはあるが、詳しくは知らない	78		39.4%
全く知らない	34		17.2%
総計	198		100%



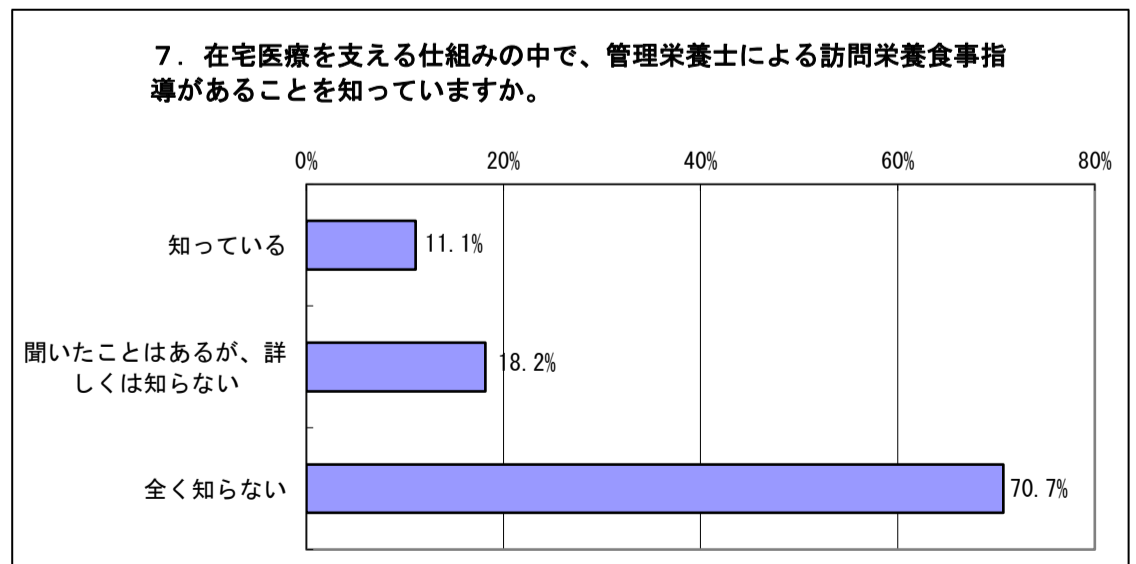
5. 在宅医療を支える仕組みの中で、歯科医師による訪問歯科診療があることを知っていますか。	回答数	回答対象者	比率
知っている	61	198	30.8%
聞いたことはあるが、詳しくは知らない	50		25.3%
全く知らない	87		43.9%
総計	198		100%



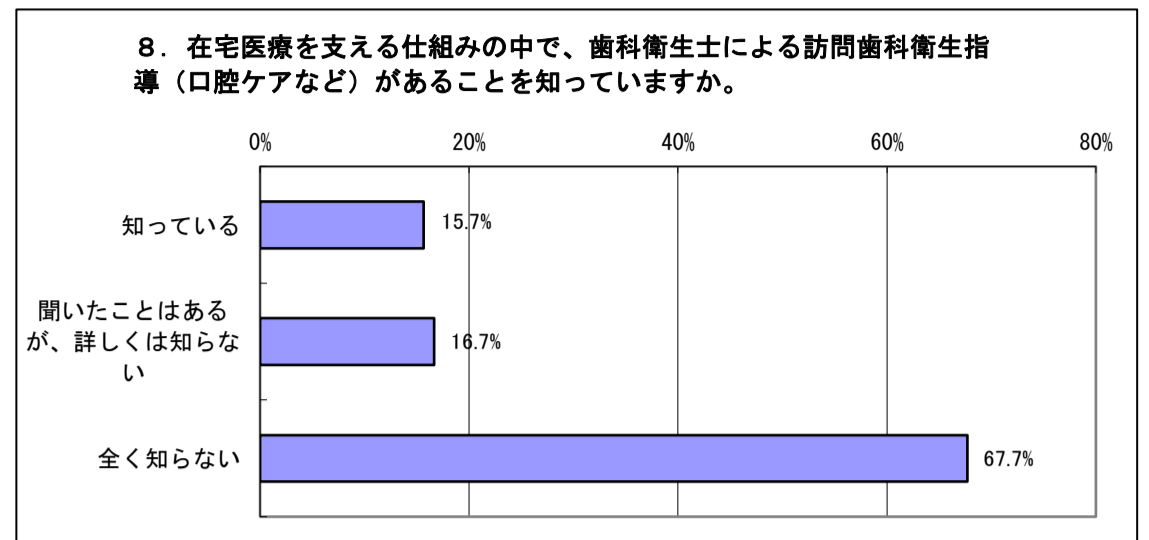
6. 在宅医療を支える仕組みの中で、薬剤師による訪問薬剤管理があることを知っていますか。	回答数	回答対象者	比率
知っている	36	198	18.2%
聞いたことはあるが、詳しくは知らない	47		23.7%
全く知らない	115		58.1%
総計	198		100%



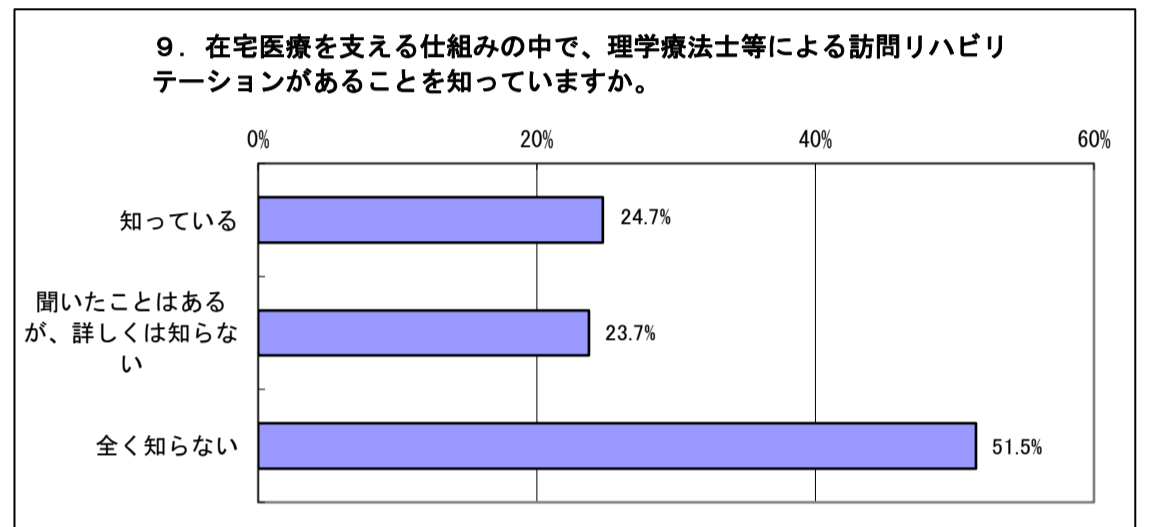
7. 在宅医療を支える仕組みの中で、管理栄養士による訪問栄養食事指導があることを知っていますか。	回答数	回答対象者	比率
知っている	22	198	11.1%
聞いたことはあるが、詳しくは知らない	36		18.2%
全く知らない	140		70.7%
総計	198		100%



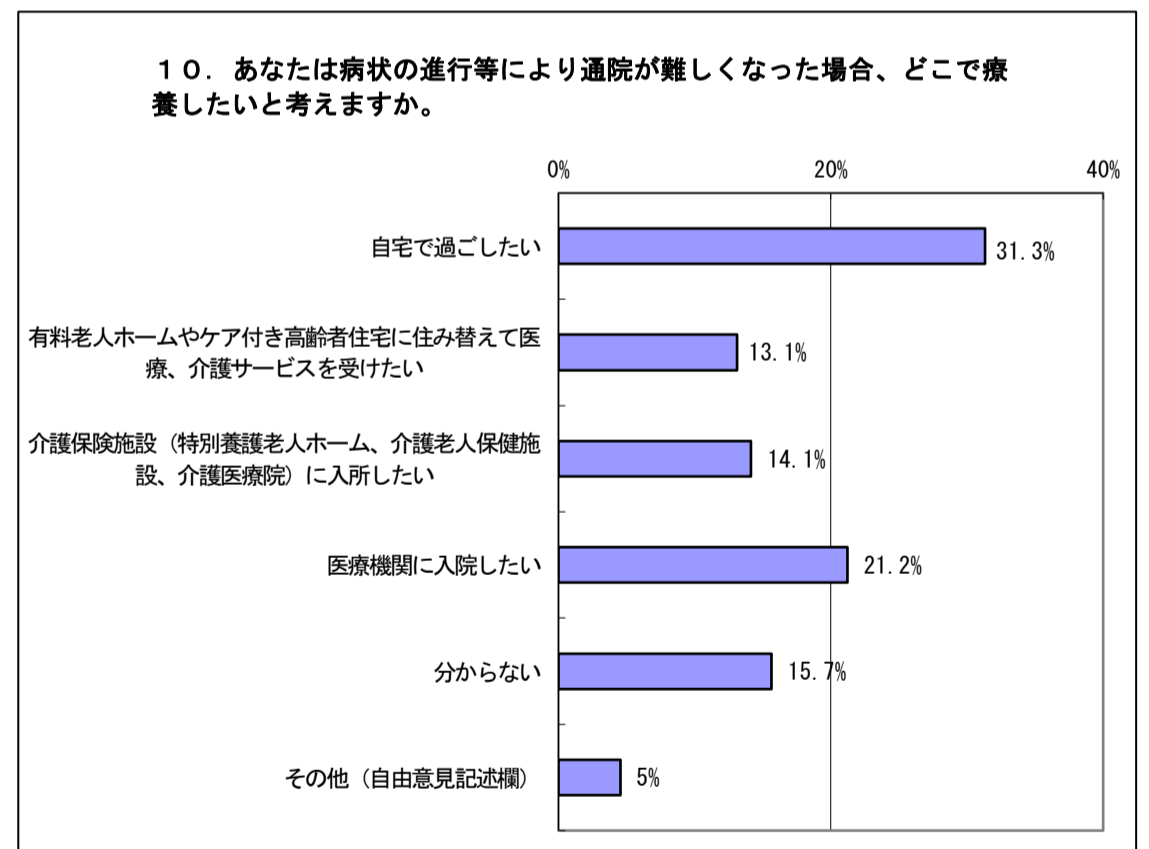
8. 在宅医療を支える仕組みの中で、歯科衛生士による訪問歯科衛生指導（口腔ケアなど）があることを知っていますか。	回答数	回答対象者	比率
知っている	31	198	15.7%
聞いたことはあるが、詳しくは知らない	33		16.7%
全く知らない	134		67.7%
総計	198		100%



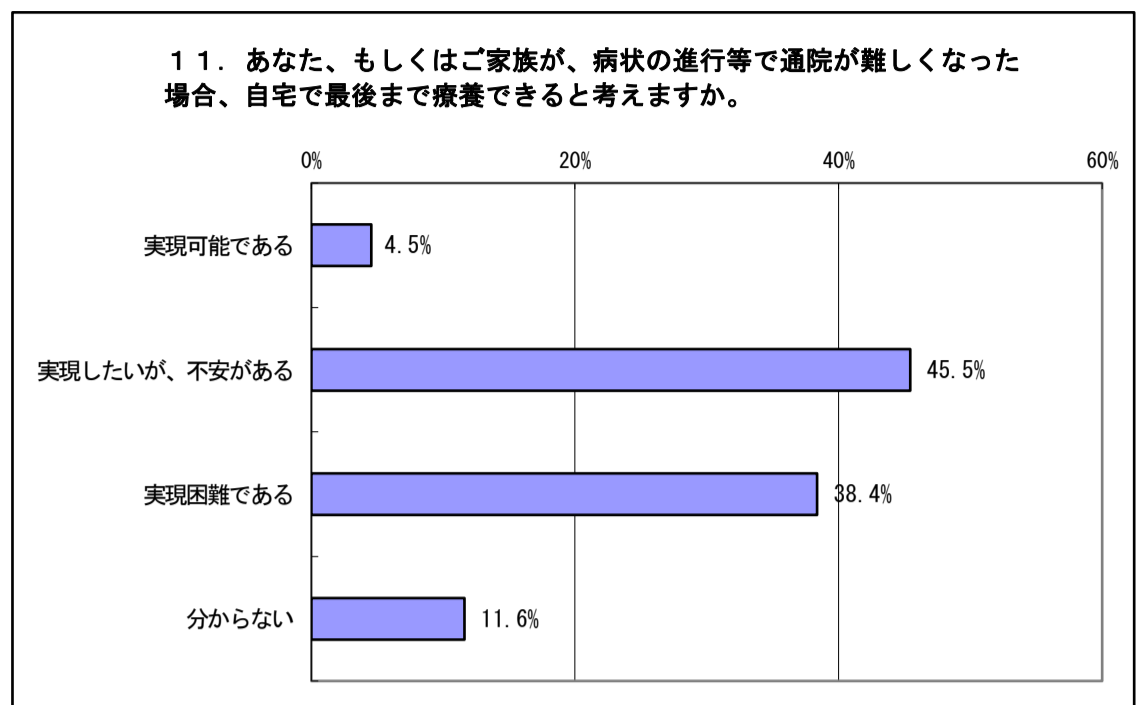
9. 在宅医療を支える仕組みの中で、理学療法士等による訪問リハビリテーションがあることを知っていますか。	回答数	回答対象者	比率
知っている	49	198	24.7%
聞いたことはあるが、詳しくは知らない	47		23.7%
全く知らない	102		51.5%
総計	198		100.0%



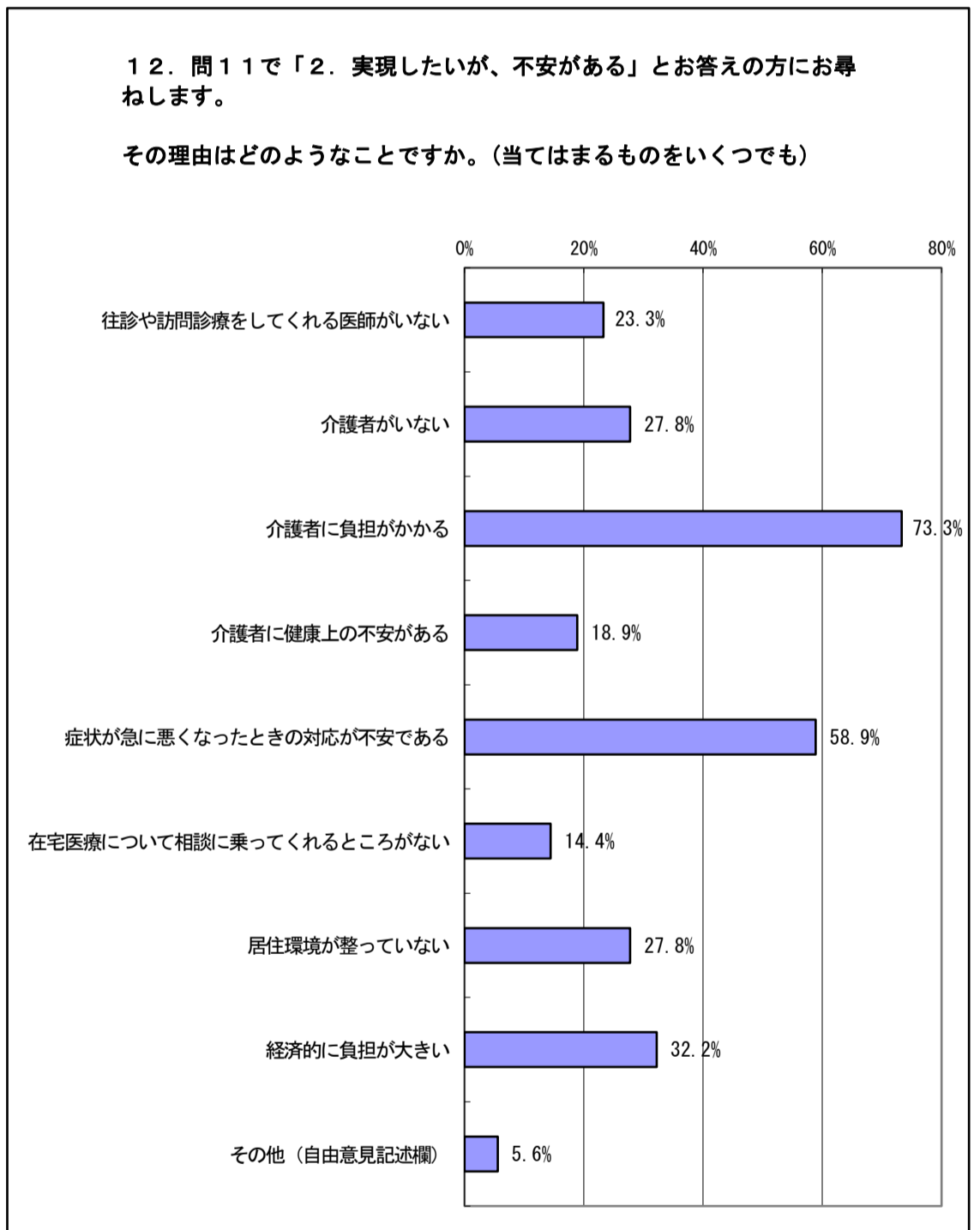
10. あなたは病状の進行等により通院が難しくなった場合、どこで療養したいと考えますか。	回答数	回答対象者	比率
自宅で過ごしたい	62	198	31.3%
有料老人ホームやケア付き高齢者住宅に住み替えて医療、介護サービスを受けたい	26		13.1%
介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院）に入所したい	28		14.1%
医療機関に入院したい	42		21.2%
分からない	31		15.7%
その他（自由意見記述欄）	9		5%
総計	198		100%



11. あなた、もしくはご家族が、病状の進行等で通院が難しくなった場合、自宅で最後まで療養できると考えますか。	回答数	回答対象者	比率
実現可能である	9	198	4.5%
実現したいが、不安がある	90		45.5%
実現困難である	76		38.4%
分からない	23		11.6%
総計	198		100%

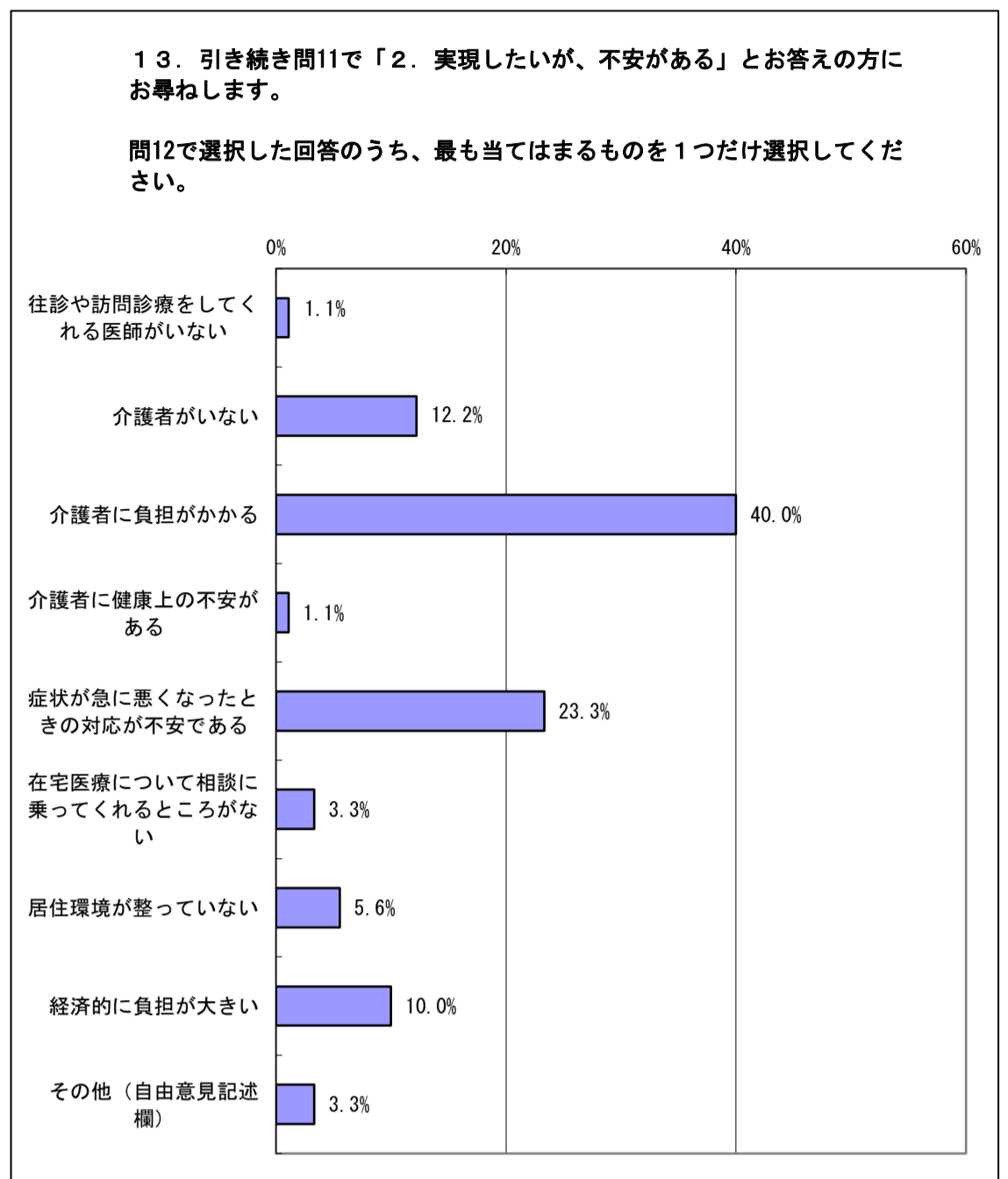


12. 問11で「2. 実現したいが、不安がある」とお答えの方にお尋ねします。 その理由はどのようなことですか。(当てはまるものをいくつかでも)	回答数	回答対象者	比率
往診や訪問診療をしてくれる医師がいない	21	90	23.3%
介護者がいない	25		27.8%
介護者に負担がかかる	66		73.3%
介護者に健康上の不安がある	17		18.9%
症状が急に悪くなったときの対応が不安である	53		58.9%
在宅医療について相談に乗ってくれるところがない	13		14.4%
居住環境が整っていない	25		27.8%
経済的に負担が大きい	29		32.2%
その他（自由意見記述欄）	5		5.6%
総計	254		-



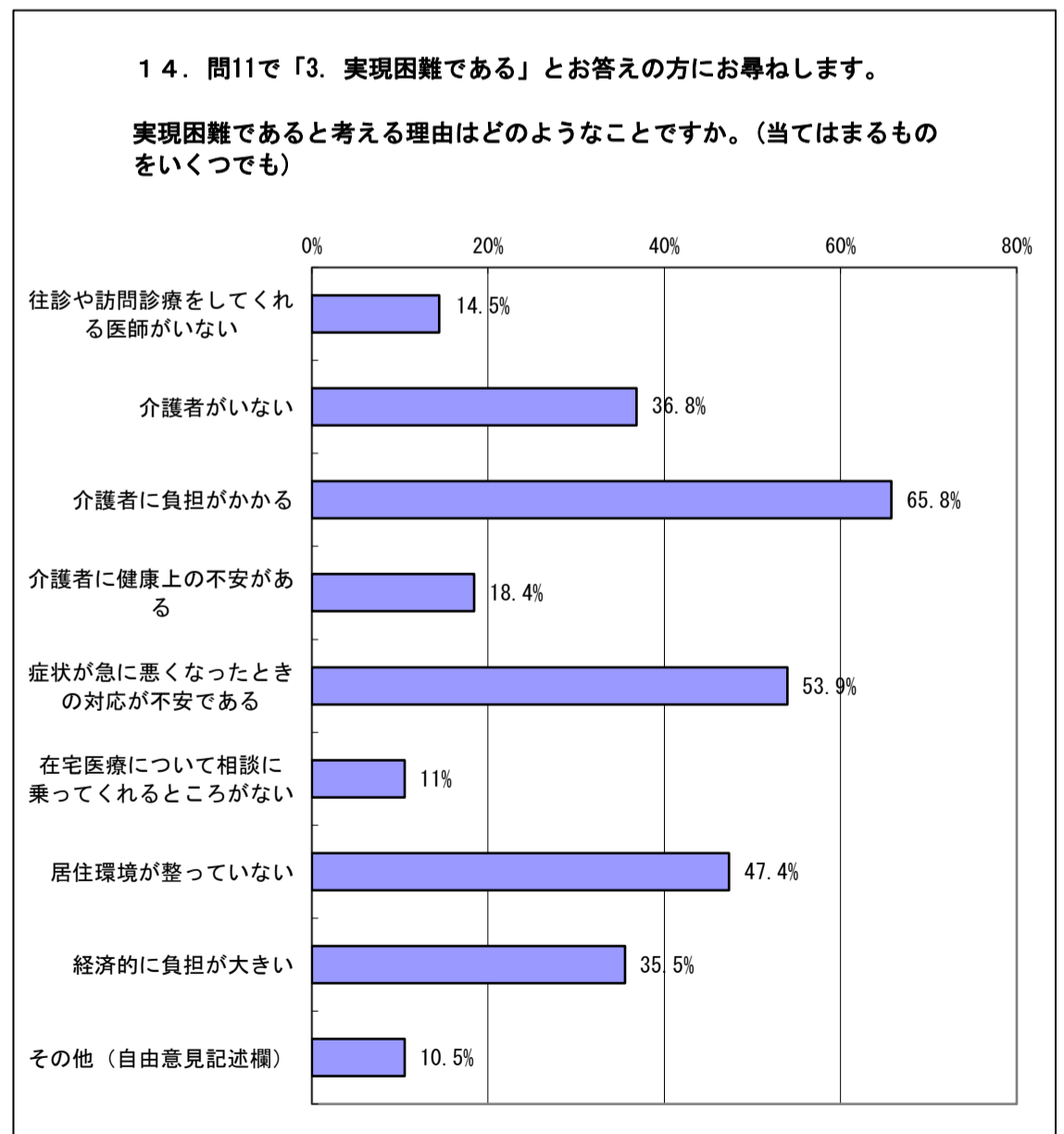
その他（自由意見記述欄）	一部抜粋
病状の進行具合によって世話の仕方が変わってくるので何とも言えない。	
入院と同じケアを受けられるか不安がある。また、在宅医療クリニックの選び方が分からない。	

13. 引き続き問11で「2. 実現したいが、不安がある」とお答えの方にお尋ねします。 問12で選択した回答のうち、最も当てはまるものを1つだけ選択してください。	回答数	回答対象者	比率
往診や訪問診療をしてもらえる医師がいない	1	90	1.1%
介護者がいない	11		12.2%
介護者に負担がかかる	36		40.0%
介護者に健康上の不安がある	1		1.1%
症状が急に悪くなったときの対応が不安である	21		23.3%
在宅医療について相談に乗ってくれるところがない	3		3.3%
居住環境が整っていない	5		5.6%
経済的に負担が大きい	9		10.0%
その他（自由意見記述欄）	3		3.3%
総計	90		100%



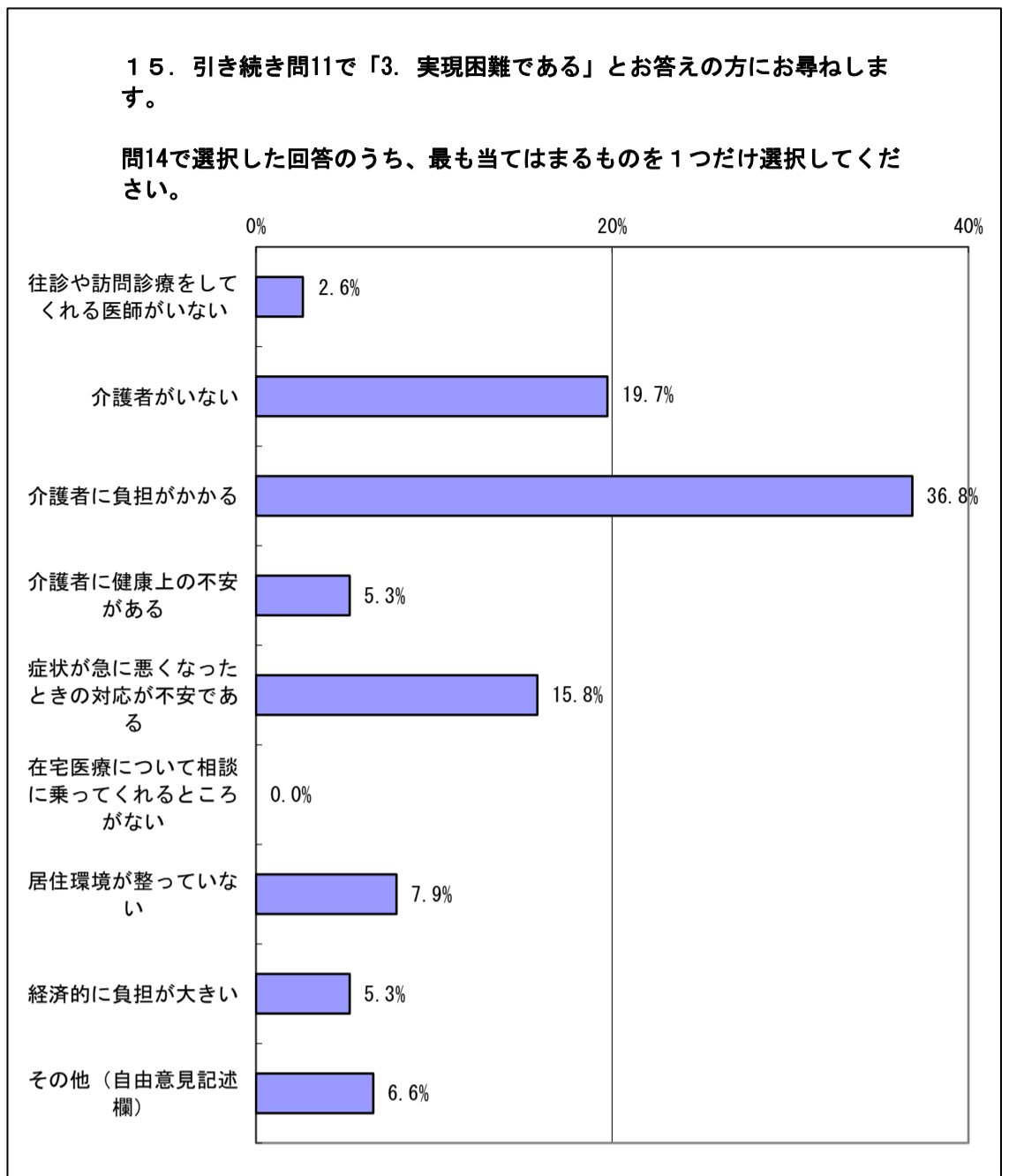
14. 問11で「3. 実現困難である」とお答えの方にお尋ねします。 実現困難であると考え理由は何のようなことですか。（当てはまるものをいくつでも）	回答数	回答対象者	比率
往診や訪問診療をしてもらえる医師がいない	11	76	14.5%
介護者がいない	28		36.8%
介護者に負担がかかる	50		65.8%
介護者に健康上の不安がある	14		18.4%
症状が急に悪くなったときの対応が不安である	41		53.9%
在宅医療について相談に乗ってくれるところがない	8		11%
居住環境が整っていない	36		47.4%
経済的に負担が大きい	27		35.5%
その他（自由意見記述欄）	8		10.5%
総計	223		-

その他（自由意見記述欄） 一部抜粋
 疾病で寝たきりになると、病気以外の介護負担が増えるし、食事、排泄、入浴、医療、ケアなど家庭でカバーしきれない作業が増加して、介護者がもたないと考えられる。

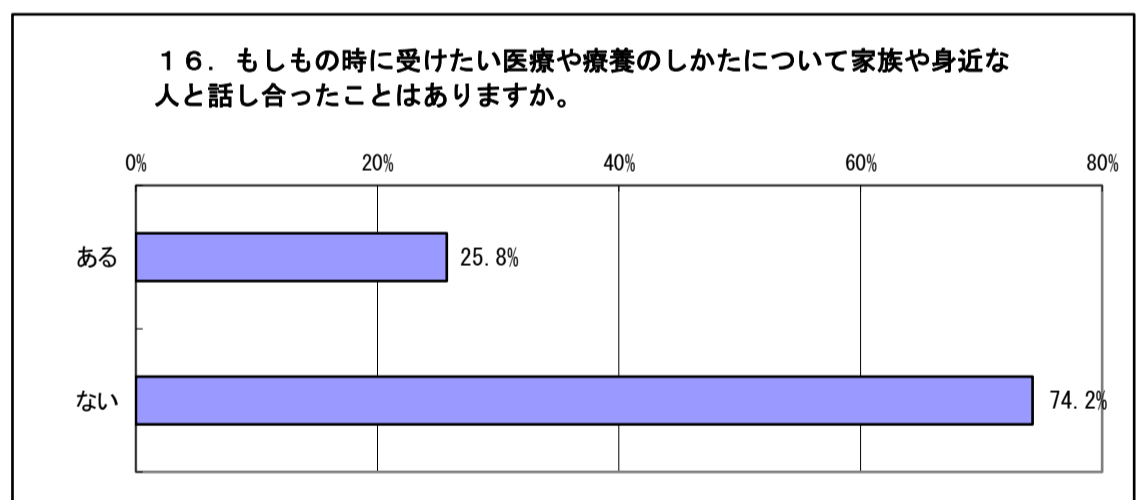


15. 引き続き問11で「3. 実現困難である」とお答えの方にお尋ねします。 問14で選択した回答のうち、最も当てはまるものを1つだけ選択してください。	回答数	回答対象者	比率
往診や訪問診療をしてくれる医師がいない	2	76	2.6%
介護者がいない	15		19.7%
介護者に負担がかかる	28		36.8%
介護者に健康上の不安がある	4		5.3%
症状が急に悪くなったときの対応が不安である	12		15.8%
在宅医療について相談に乗ってくれるところがない	0		0.0%
居住環境が整っていない	6		7.9%
経済的に負担が大きい	4		5.3%
その他（自由意見記述欄）	5		6.6%
総計	76		100%

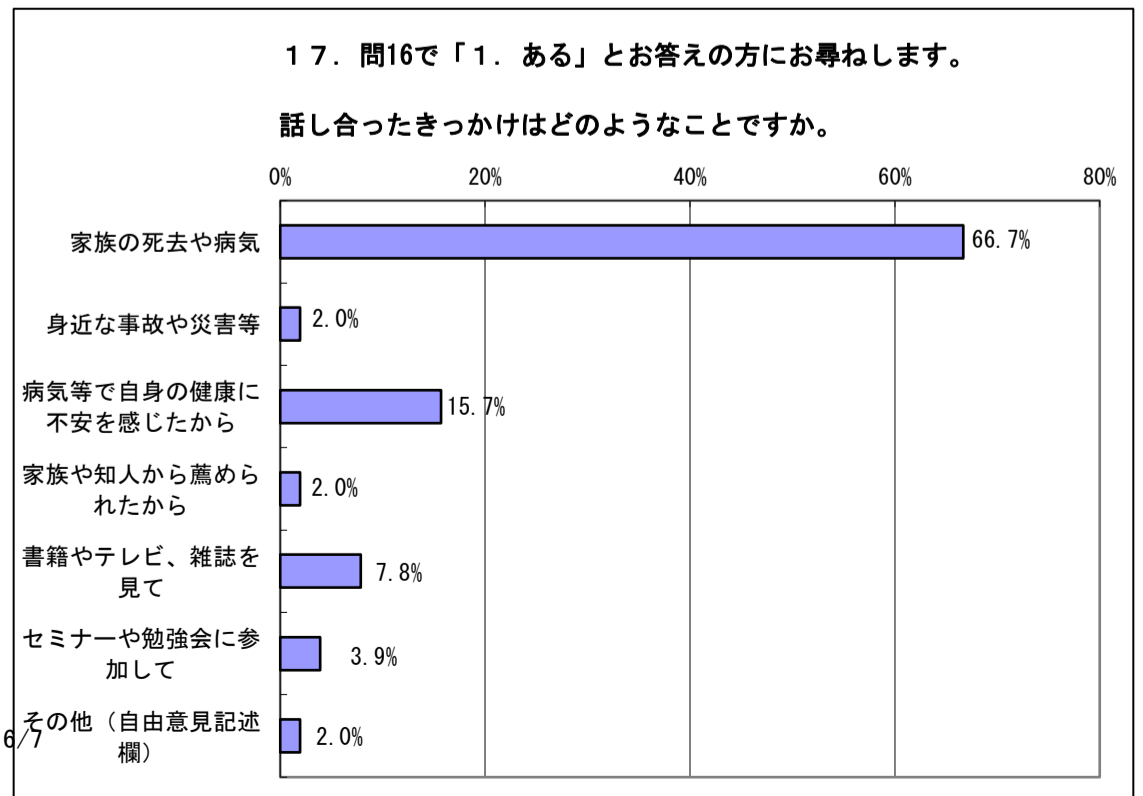
その他（自由意見記述欄） 一部抜粋
 家族それぞれに仕事があるが、介護を受ける者に認知症を発症した場合、家に一人で置いておくのはかなり危険。



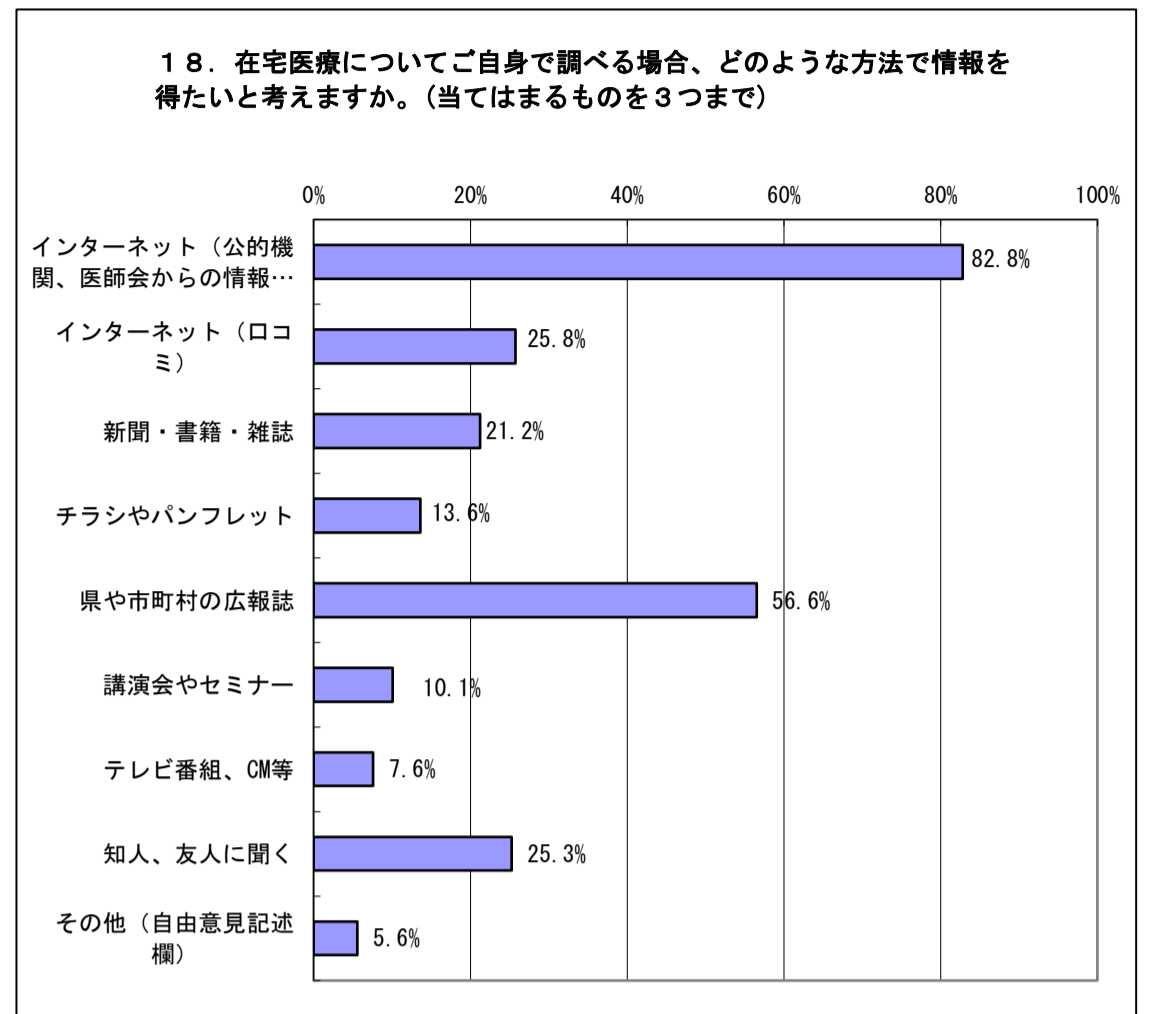
16. もしもの時に受けたい医療や療養のしかたについて家族や身近な人と話し合ったことはありますか。	回答数	回答対象者	比率
ある	51	198	25.8%
ない	147		74.2%
総計	198		100%



17. 問16で「1. ある」とお答えの方にお尋ねします。 話し合ったきっかけはどのようなことですか。	回答数	回答対象者	比率
家族の死去や病気	34	51	66.7%
身近な事故や災害等	1		2.0%
病気等で自身の健康に不安を感じたから	8		15.7%
家族や知人から薦められたから	1		2.0%
書籍やテレビ、雑誌を見て	4		7.8%
セミナーや勉強会に参加して	2		3.9%
その他（自由意見記述欄）	1		2.0%
総計	51		100%



18. 在宅医療についてご自身で調べる場合、どのような方法で情報を得たいと考えますか。(当てはまるものを3つまで)	回答数	回答対象者	比率
インターネット（公的機関、医師会からの情報等）	164	198	82.8%
インターネット（口コミ）	51		25.8%
新聞・書籍・雑誌	42		21.2%
チラシやパンフレット	27		13.6%
県や市町村の広報誌	112		56.6%
講演会やセミナー	20		10.1%
テレビ番組、CM等	15		7.6%
知人、友人に聞く	50		25.3%
その他（自由意見記述欄）	11		5.6%
総計	492		-



19. 奈良県の在宅医療提供体制や啓発方法について、ご意見があればお聞かせください。	回答数	回答対象者	比率
ご意見等	71	-	-

その他（自由意見記述欄）	一部抜粋
在宅医療についての情報をもっと知らせてほしい。 例えば、訪問診療をしてもらいたいと思っても手段や連絡先などがわからない。 訪問診療をしてくれる病院のリストなどがあればよりわかりやすいと思う。	
県民だよりも小さなコーナーを作って、少しずつ情報提供してほしい。一度に大量の情報を出されても消化できないし、まだ関係ないと思っているうちは真剣に見ないと思うから。	
町の広報で啓発する事は大事だが、家族に対象者がいないとあまり意識して見ることがないと思う。病気になってからかかる病院やクリニックで啓発したり、相談できる体制を構築する事も大事だと思います。	